

## 自転車活用の先進地の事例について

## 1 愛媛県における特色ある取組み

## ○サイクリスト受入環境の整備

- ・瀬戸内しまなみ海道に「しまなみ海道サイクリングロード」を整備
- ・外国人サイクリストのための多言語表示（英語、繁体字、ハングル）看板の整備
- ・サイクルオアシス（サイクリストのための休憩施設）を整備

## ○高速道路や瀬戸内の美しい島々を舞台に行うサイクリング大会の実施

- ・サイクリングしまなみ2018の開催（隔年開催）

開催日：30年10月28日（日）開催予定

大会規模：7,000人程度（4年毎に大規模大会を開催）

特徴：①高速道路を走行する日本唯一のサイクリング大会

②世界有数のサイクリングコースを使ったイベント

③しまなみ海道の絶景を堪能する多彩なコース設定

④瀬戸内の島ならではの「おもてなし」

⑤隣県（広島県）や関係市町村（今治市、尾道市等）、官民が連携した大会運営

## ○自転車の安全利用

- ・思いやり1.5m運動

27年から「思いやり1.5m運動」を開始。自動車等の運転手に対し、自転車の側方を通過するときは”1.5m以上の安全な間隔を保つ”か、道路事情等から安全な間隔を保つことができないときは”徐行する”ことを呼び掛けている。

## 2 北海道における特色ある取組み

## ○北海道自転車条例の制定

- ・自転車の活用及び安全な利用の推進に関する施策を総合的に推進するために制定。（30年4月1日施行）
- ・条文に「サイクルツーリズムの推進」を明記。（全国初）

## ○サイクルツーリズムの推進

- ・道内に5つのモデルコースを設定し、下記の取組みを試行。
  - ①受け入れ環境の充実（サイクリストの休憩施設の確保など）
  - ②情報発信・サイクリストとのコミュニケーション（HPの開設など）
  - ③自転車走行環境の整備（案内看板や路面表示の設置など）